

八丁平3丁目 南向き リーズナブル

公募売却の市有地 宅地24区画を分譲



24区画で販売を開始した八丁平3の分譲地

室蘭市が売却先を公募していた八丁平3の未利用の市有地は、市内の建設業者が落札し、宅地として造成工事が始まった。先月発表された基準地価でも、地価が上昇した道内でも数少ないエリアとして注目の八丁平地区の宅地分譲で、早ければ年明けから着工可能となる。
(菅原啓)

室蘭市内の建設業者

分譲地は、中島町1から道道室蘭環状線で八丁平へ

進み、北海道大谷室蘭高校前を右折、八丁平第一町会館が建つ区画の約6400平方メートル。住まいのウチイケ、川田建設工業による共同企業体（JV）が開発し、「ゆめみの森八丁平」として建築条件付き24区画を宅地分譲する。両社に加え、指定建築会社として土屋ホーム、遠田建設、内池建設の3社も参画する予定。

南向きに緩やかな傾斜で、周囲は緑に囲まれた静かな環境。道南バスの停留所「大谷高校前」から徒歩1分、コンビニエンスストアも徒歩圏内にある。

1区画平均22.3平方メートル（67坪）、坪単価6万円台から。宅地として十分な広さに加え、高砂町や知利別町といった人気エリアに比べ、圧倒的なコストバリューも魅力の一つで、1区画430万円～500万円台で販売する。

住まいのウチイケの内池秀光代表取締役社長は「日当たりが良く、高台らしく眺めも良好。中島地区とのアクセスが良く、通勤や通学にも最適」とアピール。

南向きに緩やかな傾斜で、周囲は緑に囲まれた静かな環境。道南バスの停留所「大谷高校前」から徒歩1分、コンビニエンスストアも徒歩圏内にある。

同社によると、八丁平地区で土地を探したり、新築を検討する相談は年々増えているという。

造成は年内完了の見込み。新型コロナウイルスの影響については「オンラインやリモートの打ち合わせが増えてくる。新しいスタイルでチャンスを広げていきたい」と話している。